

「自分の良さに磨きをかけよう」

生徒の皆さん、おはようございます。校長の博田です。今日こそ対面形式で皆さんにお話ししたかったのですが、感染拡大が未だ十分に収まらない状況ですので、放送での修了式とさせていただきます。さて、先日の卒業式は、昨年度に引き続き感染症の拡大防止のため、時間的にも内容的にも制限された形での実施となりましたが、大変よい卒業式になりました。当日の在校生代表の戸田款太君による送辞と、卒業生代表の森下果穂さんによる答辞の全文が生徒玄関に入ってすぐ正面の掲示用ボードに貼られていますので、ぜひ読んでみてください。3年生は、この3年間の高校生活を思い出しながら、また周囲の人たちに感謝をしながら、松が谷高校という学び舎から旅立っていきました。大変嬉しく思います。

さて、1年を締めくくる今日の修了式にあたり、私はこれから皆さんに「自分の良さに磨きをかけよう」という話をしたいと考えています。

私は以前、クラス担任をしていた時に、ある生徒からこんな相談を受けたことがあります。

「僕はみんなと同じように友達に気軽に話しかけたり、人の輪に入ることができません。時々そんな自分が嫌になることがあります。性格を変えることはできないでしょうか」という内容でした。

その時、私はこう話しました。「性格を変えるのはなかなか難しいけど、できないことではない。しかし私は、性格を変えることより、あなたの良さに磨きをかけることの方を勧めます」と。日常生活の中で私たちは周囲の人たちを見て、「明るい」「目立ちたがり屋」「おとなしい」「気難しい」など、いろいろな見方をします。こういう時、私たちは知らず知らずに他の人と比較して言っていないでしょうか。つまり、あの人は他の人と比べると、あるいは自分と比べると「社交的だ」「はっきりものを言う」とか「素直だ」と言っているのです。このように他の人と違う、その人独自の行動の仕方、自分の表現の仕方を「性格」と言います。最近よく使う言葉でいうと「キャラ」ですね。広辞苑で「性格」を引いてみると、「各個人に特有の、ある程度持続的な、感情・意志の面での傾向や性質。ひとがら」とあります。つまり性格は、「その人の中であって、その人らしさを生み出しているもの」です。人との違いで強調すると「個性」ということになります。

その自分の性格や個性が、どうも自分には受け入れられないという人もいます。それは、自分の性格や個性を短所、つまり欠点として見ているからです。しかし、その短所を裏返せば、そこには長所があることを、まず知ってほしいと私は思います。例えば、「根暗」という言葉をよく聞きますが、それを裏側から見ると、「落ち着き」や「冷静沈着」だったり、「控え目」「奥ゆかしさ」という、人にとってとても大切な性格のひとつになります。

ですから私は、「性格を変えたい」と言う前に「是非、自分の短所だと思うことの裏にある良いところを見つめてほしい」と話すようにしています。「ここが私の一番良いところ」「このことは比較的、友達に認められている」「私はこれが得意」というところをいっぱい見つけて、それを一生懸命、磨くのです。

そうすると自ずから自分が好きになります。自分が好きになれば、周囲の人たちへの目も温かくなり、人との関わりも楽しくなります。「自分の性格を変えたい」などと思わなくなります。皆さんの一人ひとりが、あなたらしさを磨くことの方が、性格を変えるより、あなたの個性を光り輝かせます。是非、皆さんも自分の良さに磨きをかけてください。

さて、今日はもう一つ大事な話をしますので聞いてください。平成30年6月の民法改正により、皆さんもご存じの通り、あと1週間後の来月4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられ、18歳になったら親権者の同意がなくても一人で有効な契約を成立させることができるようになります。ですから皆さんは今まで以上に、契約などの消費生活に関する基本的な知識や、消費者として主体的に行動できる能力と態度を身に付けることが大切になります。

例えば、成年年齢が引き下げられることによって18歳になった皆さんができることとして、「携帯電話を買う」「クレジットカードを作る」「一人暮らしの部屋を借りる」「ローンを組んで商品を買う」など、親の同意がなくても契約できるようになります。また「自分の住む場所を決められる」「10年有効のパスポートが作れる」「公認会計士や司法書士等の国家資格が取れる」などのメリットもあります。

ここで詳しいことを述べるのは控えますが、今日私がここで協調したいのは、「契約」という言葉の持つ意味です。契約は、お互いの意思表示が合致したときに成立します。重要な契約は契約書を作成しますが、口約束でも成立する契約もあります。皆さんが普段買い物をするのも契約です。今まであまり気に留めなかったかもしれませんが、これからは「契約」という言葉に敏感になって生活してほしいと思います。また、「消費者ホットライン」という全国共通の電話番号188もありますので、何か困ったときには相談するようにしてください。

最後になりましたが、今日私がお話しした、自分らしさを磨くことと、成年年齢が18歳に引き下げられることに伴う注意点などを心に留め、皆さんには4月からの学校生活を気持ちよく過ごしてほしいと願っています。それでは、明日からの春休みを有意義に過ごされるよう期待して、私の話を終わります。

令和4年3月25日

都立松が谷高等学校長 博田 英明